

建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する 各種データについて

令和元年 7月

大阪府住宅まちづくり部建築振興課

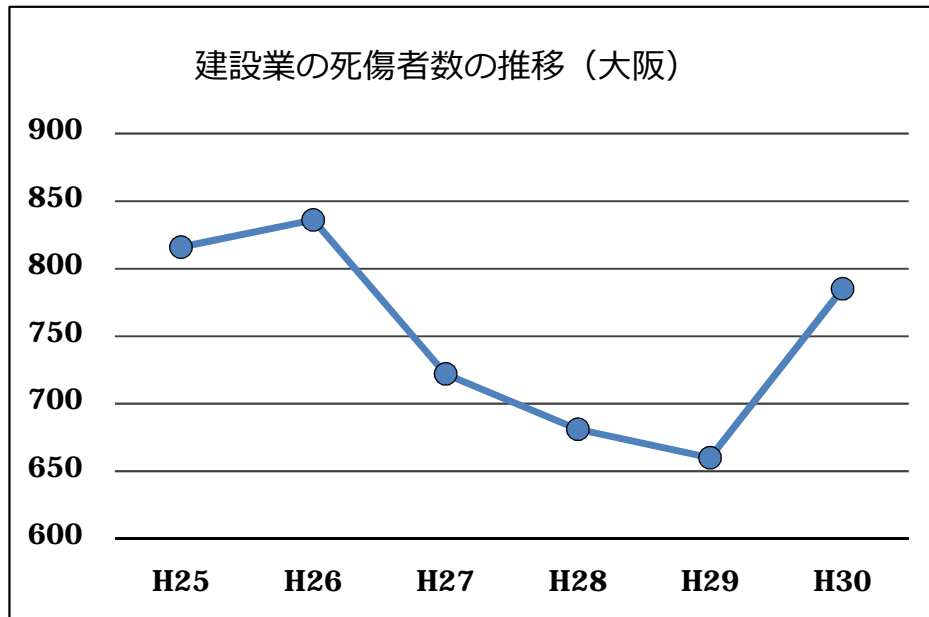
目次

1. 建設業の労働災害の発生状況について **P. 3**～
2. 建設業の現状について **P. 10**～

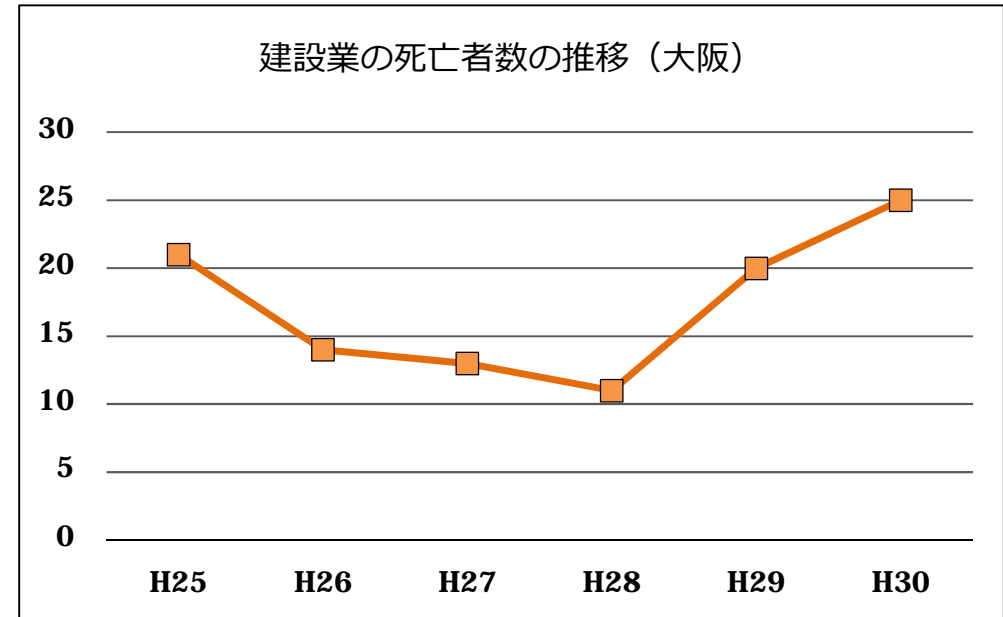
大阪府における建設業の労働災害発生状況（死傷者数・死亡者数）

- ・死傷者数は減少傾向だったが平成30年は増加。【図1】
- ・死亡者数は概ね横ばいだったが平成29年以降増加。【図2】

【図1】



【図2】



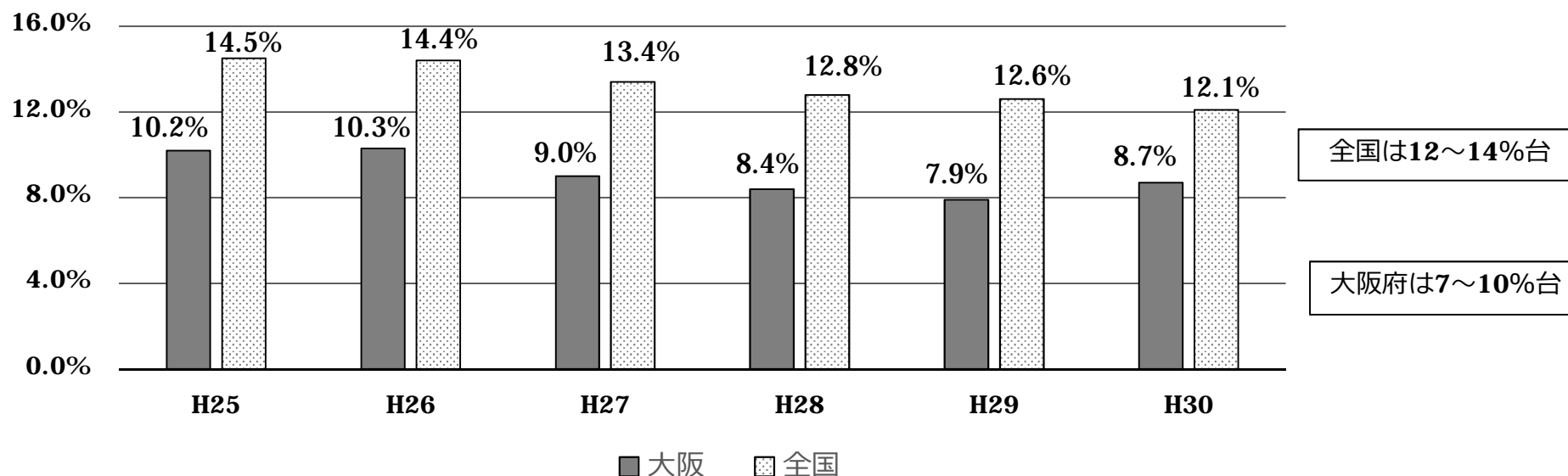
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
		増減数	増減率 (%)						
建設業 (大阪)	死傷者数	816	836	722	681	660	785	+125	+18.9
	死亡者数	21	14	13	11	20	25	+5	+25.0

単位（人）

全産業に占める構成率（死傷者数）

- ・全産業に占める建設業の死傷者数の割合は、大阪府・全国ともに減少傾向だが、大阪府は全国と比べて低い割合で推移。【図3】

【図3】 全産業に占める建設業死傷者数の構成率の推移



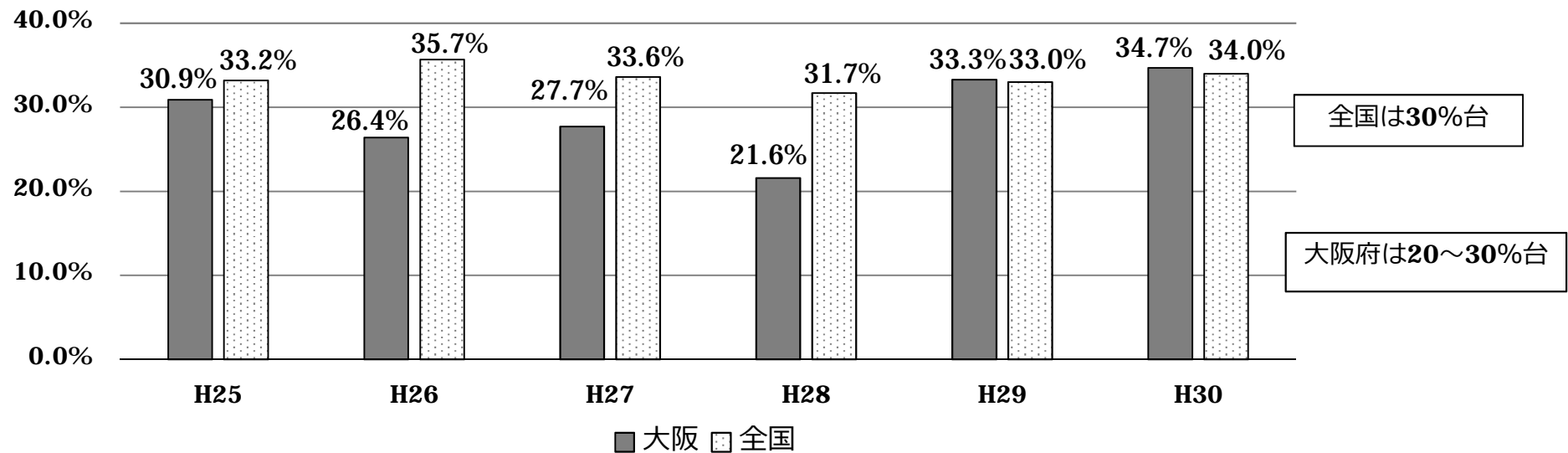
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
								増減数	増減率(%)
死傷者数 (大阪)	全産業	8,014	8,138	8,041	8,125	8,345	8,972	+627	+7.5
	建設業	816	836	722	681	660	785	+125	+18.9
死傷者数 (全国)	全産業	118,157	119,535	116,311	117,910	120,460	127,329	+6,869	+5.7
	建設業	17,189	17,184	15,584	15,058	15,129	15,374	+245	+1.6

単位（人）

全産業に占める構成率（死亡者数）

- ・全産業に占める建設業の死亡者数の割合は、近年大阪府では**20～30%台**、全国では**30%台**で推移。【図4】

【図4】 全産業に占める建設業死亡者数の構成率の推移



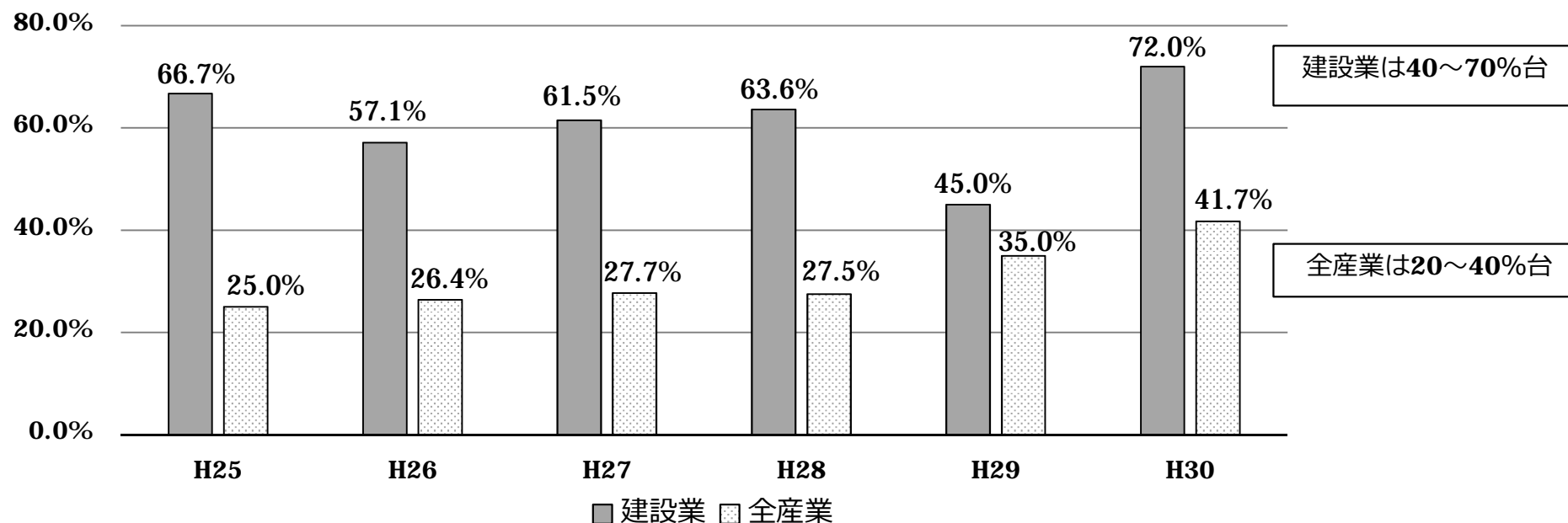
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
								増減数	増減率(%)
死亡者数 (大阪)	全産業	68	53	47	51	60	72	+12	+20.0
	建設業	21	14	13	11	20	25	+5	+25.0
死亡者数 (全国)	全産業	1,030	1,057	972	928	978	909	△69	△7.1
	建設業	342	377	327	294	323	309	△14	△4.3

単位（人）

大阪府における墜落・転落を原因とする死亡災害の構成率（全産業比）

・建設業の死亡者数に占める墜落・転落災害の割合は、全産業に比べて高い。【図5】

【図5】 死亡者数に占める墜落・転落災害の構成率の推移



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
							増減数	増減率(%)
死亡者数（建設業）	21	14	13	11	20	25	+5	+25.0
うち墜落・転落	14	8	8	7	9	18	+9	+100.0
死亡者数（全産業）	68	53	47	51	60	72	+12	+20.0
うち墜落・転落	17	14	13	14	21	30	+9	+42.9

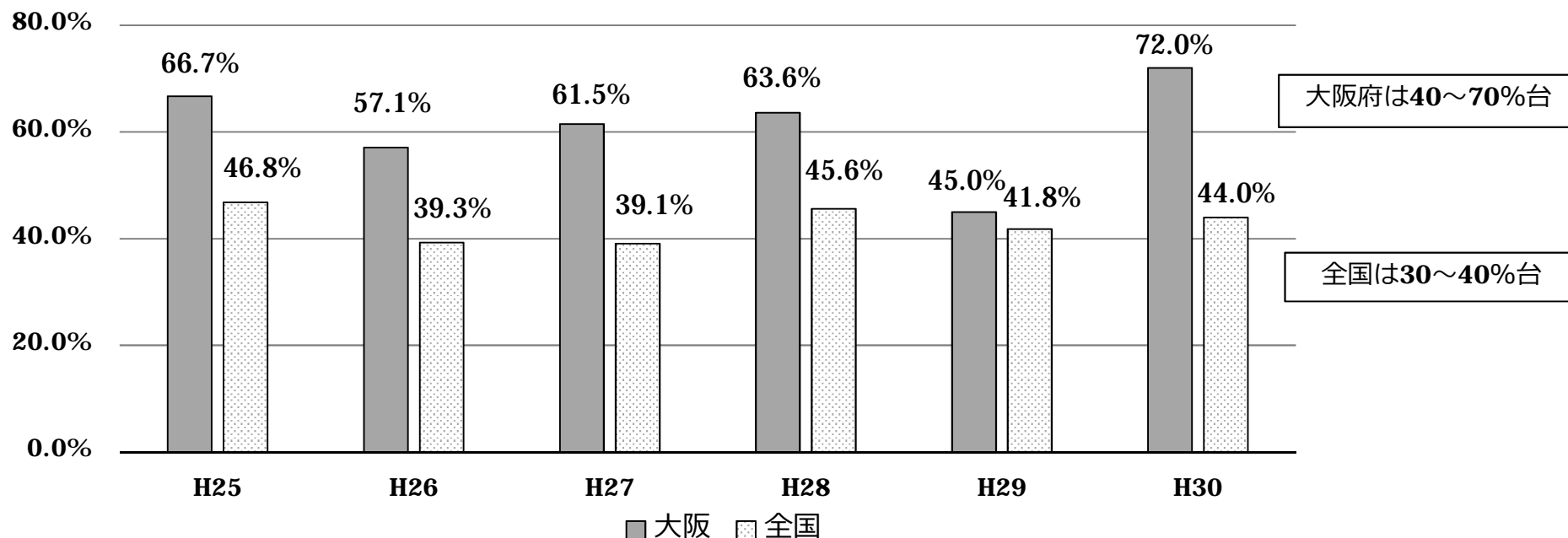
出典：厚生労働省 労働災害発生状況（確定）

単位（人）

墜落・転落を原因とする死亡災害の構成率（全国比）

・大阪府の建設業の死亡者数に占める墜落・転落災害の割合は、全国に比べて高い。【図6】

【図6】 建設業死亡者数に占める墜落・転落災害の構成率の推移



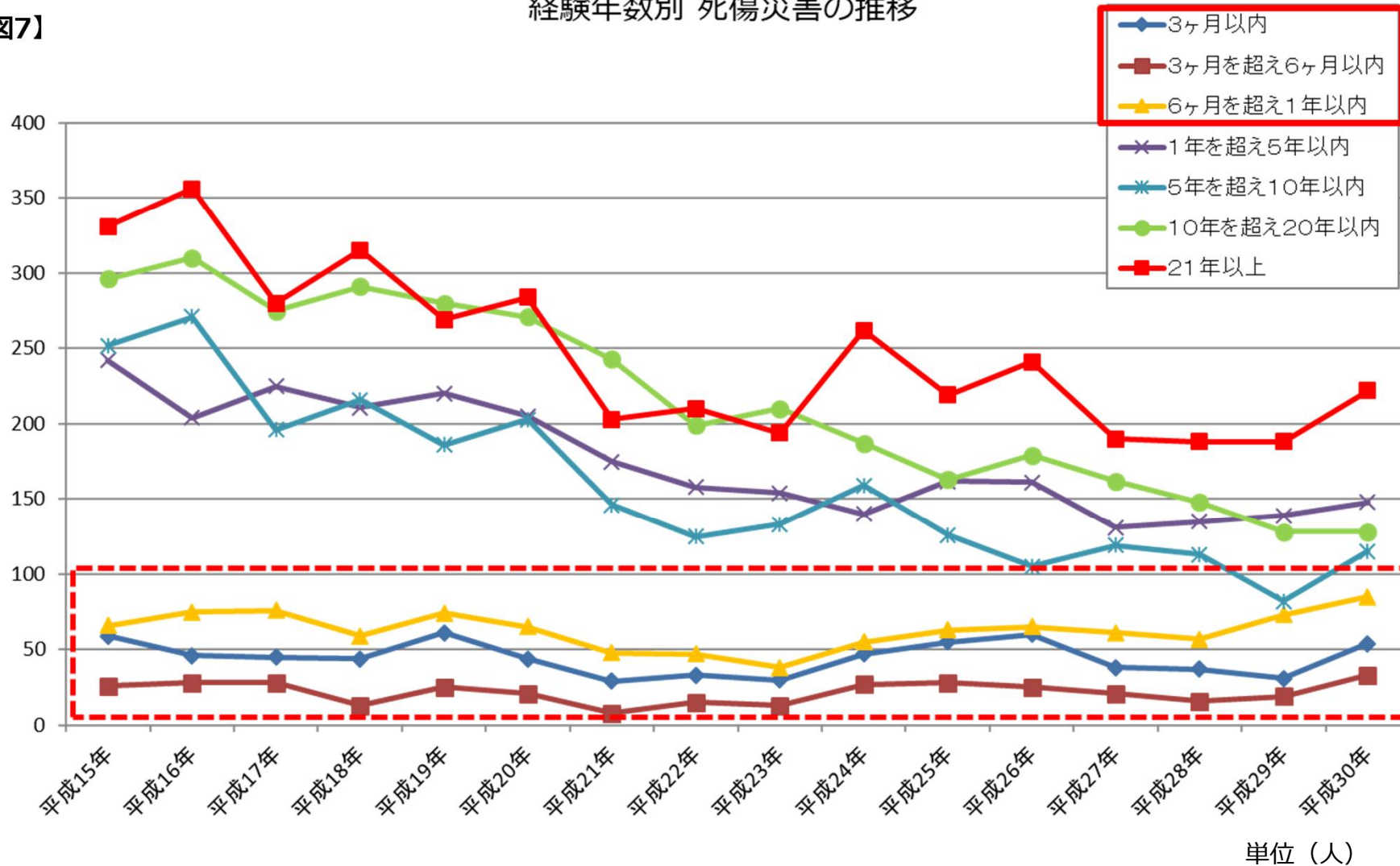
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
							増減数	増減率(%)
死亡者数（大阪）	21	14	13	11	20	25	+5	+25.0
うち墜落・転落	14	8	8	7	9	18	+9	+100.0
死亡者数（全国）	342	377	327	294	323	309	△14	△4.3
うち墜落・転落	160	148	128	134	135	136	+1	+0.7

大阪府における建設業の経験年数別死傷災害

・ 入職1年以内の未熟練工の災害は減少していない。【図7】

【図7】

経験年数別 死傷災害の推移

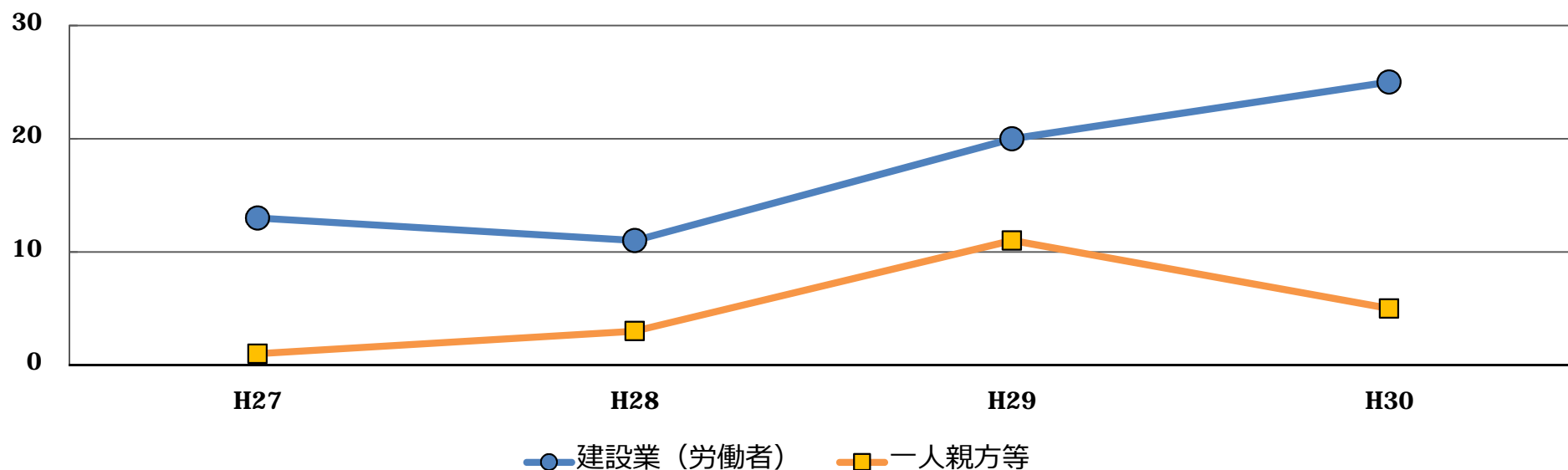


出典：大阪労働局労働基準部安全課

大阪府における建設業一人親方等の死亡災害の発生状況

- ・一人親方等の死亡者数は平成**29**年に比べて減少している。【図8】

【図8】 大阪府における建設業の死亡者数（労働者）と一人親方等の業務中の死亡者数（把握分のみ）の比較



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
					増減数	増減率(%)
建設業（労働者）	13	11	20	25	+5	+25.0
一人親方	0	3	3	2	△1	△33.3
一人親方等	1	3	11	5	△6	△54.5

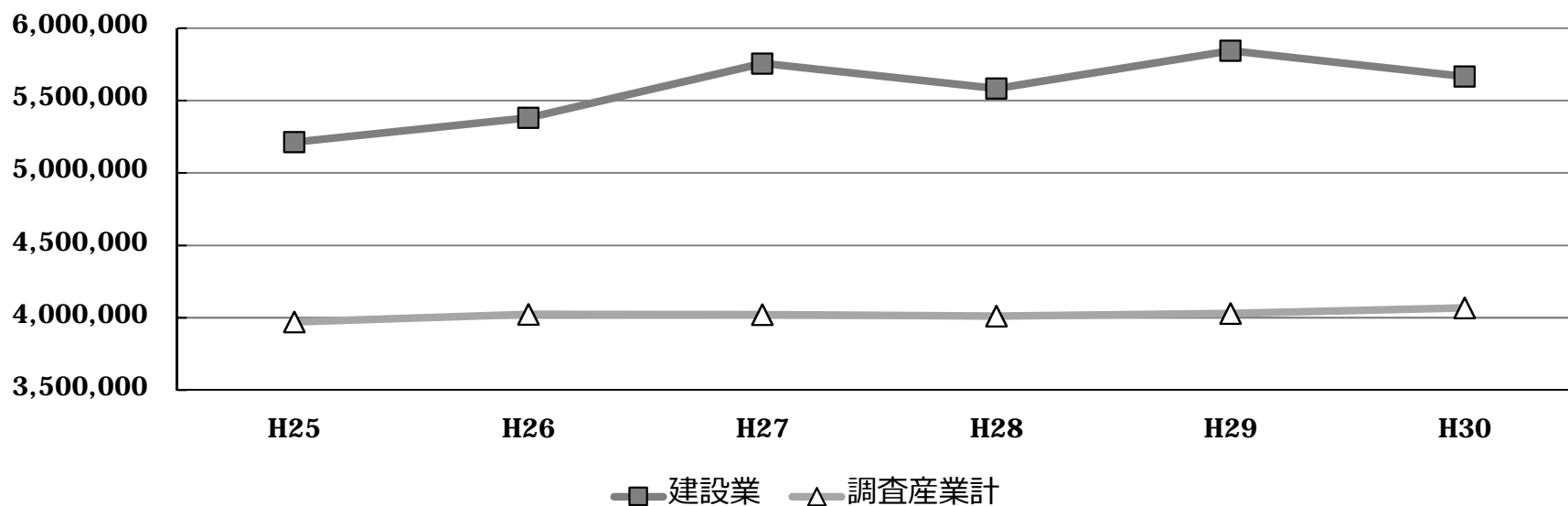
【注】
一人親方とは、労働者を使用しないで事業を行う者であり、本資料の「一人親方等」には、これに加えて中小事業主、役員、家族従事者を含めています。
なお、計上数は、厚生労働省把握分の人数です。

大阪府における建設業の現金給与総額

- ・建設業労働者の現金給与総額は、全産業より高い水準で推移している。【図9】

【図9】

産業別現金給与総額（年額、平均、常用労働者数5人以上の事業所）



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
							増減数	増減率(%)
建設業	5,212,092	5,380,896	5,755,956	5,583,660	5,844,120	5,665,992	△178128	△3.0
調査産業計	3,971,436	4,023,648	4,022,352	4,011,864	4,029,648	4,068,972	+39,324	+1.0

出典：大阪府統計課 「毎月勤労統計調査地方調査年報」

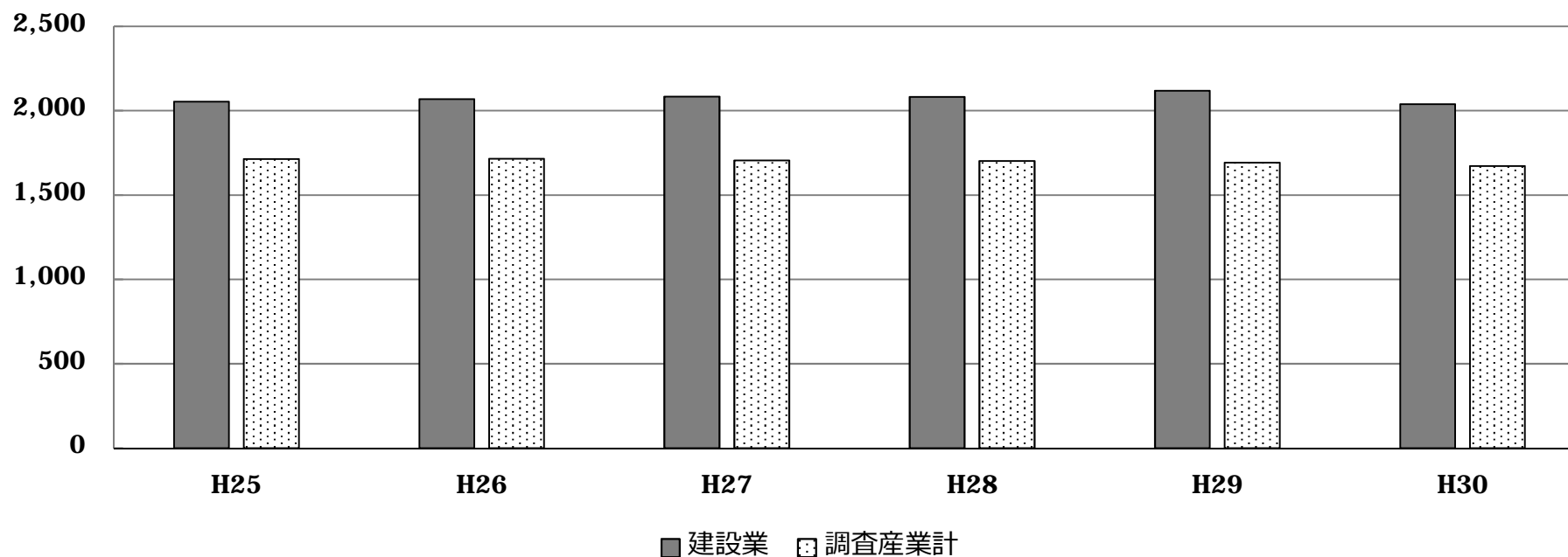
※平成30年においては平均結果速報より算出（常用労働者1人平均月間現金給与額×12ヶ月）

単位（円）

大阪府における建設業の総実労働時間

- ・建設業労働者の総実労働時間は、概ね横ばいであり、全産業労働者より長い。【図10】

【図10】 産業別総実労働時間（年間、平均、常用労働者数5人以上の事業所）



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	
							増減数	増減率(%)
建設業	2,054	2,069	2,083	2,082	2,119	2,039	△80	△3.8
調査産業計	1,714	1,716	1,705	1,702	1,692	1,672	△20	△1.2

出典：大阪府統計課 「毎月勤労統計調査地方調査年報」

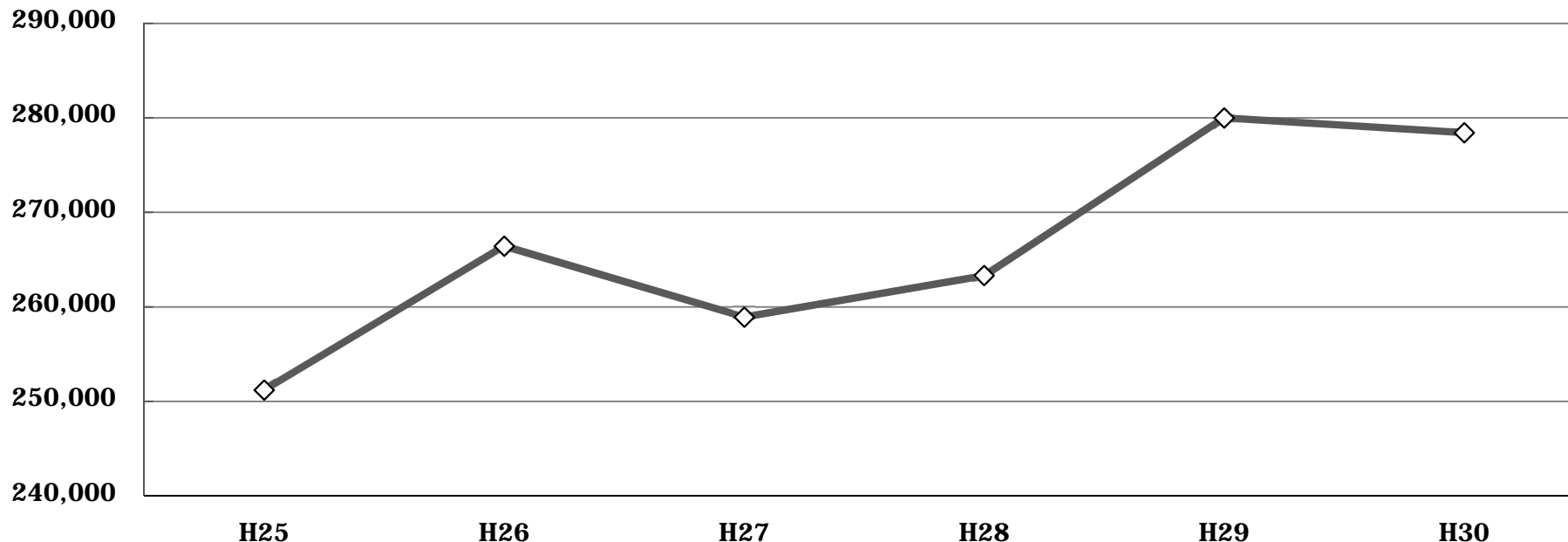
単位（時間）

※平成30年においては平均結果速報より算出（常用労働者1人平均月間実労働時間数×12ヶ月）

大阪府における建設業の小規模事業所の現金給与額等

【図11】

決まって支給する現金給与額（月額、平均、常用労働者数1～4人の小規模事業所）



	きまって支給する現金給与額（円）	特別に支払われた現金給与額（勤続1年以上）（円）	1日の実労働時間数（時間）	出勤日数（日）
平成25年	251,212	93,806	7.4	21.3
平成26年	266,439	180,206	7.5	21.6
平成27年	258,935	128,238	7.5	20.8
平成28年	263,318	184,342	7.5	20.8
平成29年	280,012	261,495	7.4	21.2
平成30年	278,441	262,714	7.5	21.7

単位（円）

【注】

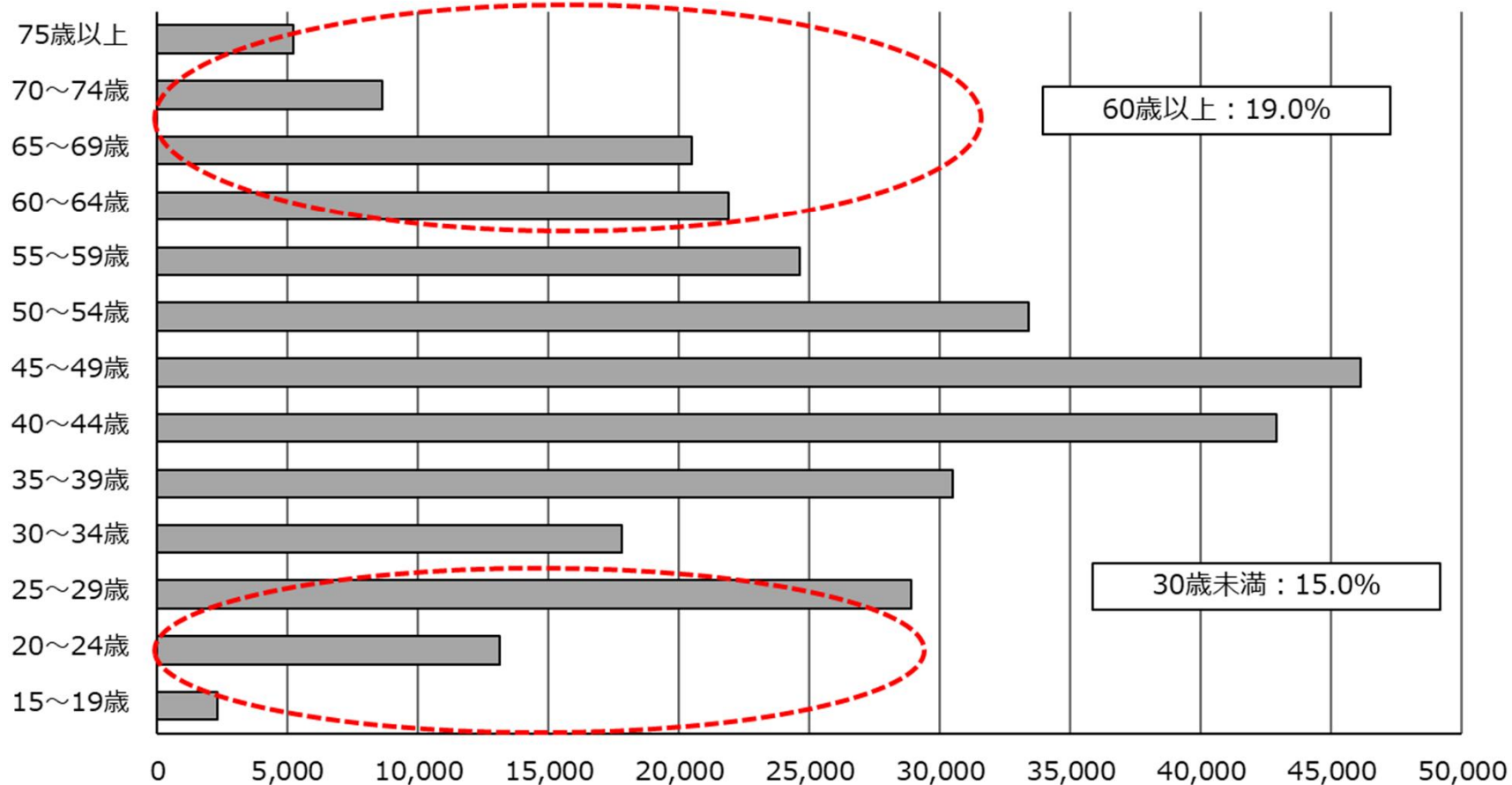
毎月勤労統計調査特別調査は、厚生労働大臣が指定する地域に所在し、調査産業に属する事業所のうち常用労働者を1～4人雇用する事業所を対象に、年1回実施するものです。

大阪府における年齢階層別建設業有業者数

- ・建設業有業者は60歳以上が19.0%を占めている。【図12】

【図12】

平成29年 年齢階層別の建設業有業者数



大阪府における熱中症発生状況（参考）

- ・ 建設業の熱中症による死傷者数は概ね横ばい。

熱中症による死傷者数

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
建設業	4	8	9	6	6	7	3	7
調査業種計	16	29	25	25	25	30	27	89
構成率	25.0%	27.6%	36.0%	24.0%	24.0%	23.3%	11.1%	7.9%

単位（人）

熱中症による死亡者数

	平成19年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
建設業	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0
調査業種計	1	1	1	1	1	2	2	2	1	3

（注）平成20・25年は死亡者なし 単位（人）

（参考）猛暑日等の日数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
猛暑日(最高気温35℃以上)	31	7	12	23	5	11	26	15	27
真夏日(最高気温30℃以上)	82	76	75	88	65	58	81	74	73
熱帯夜(最高気温25℃以上)	55	51	43	47	29	25	47	47	53

単位（日）